

令和7年度 クリンピー応援隊に係るアンケート集計結果

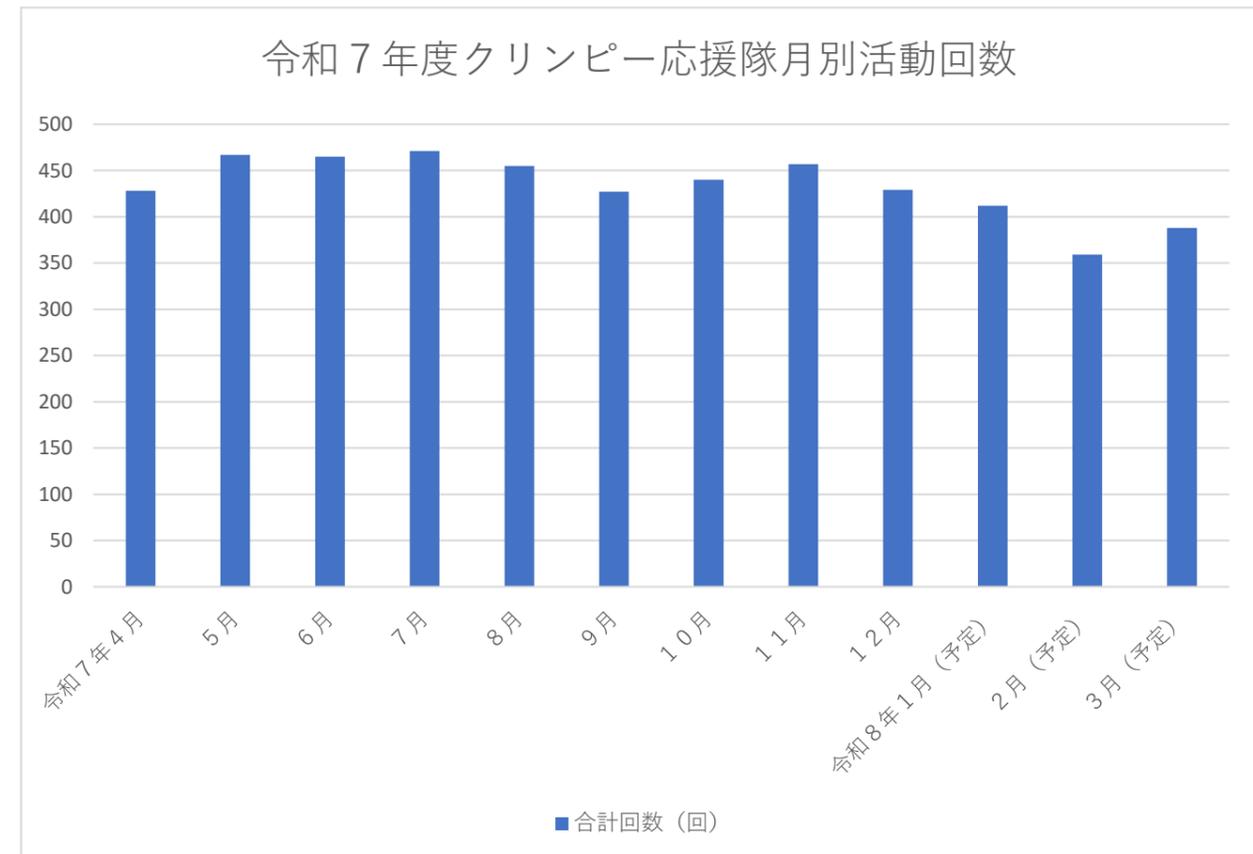
〈調査の対象〉

- ・調査の対象：クリンピー応援隊に登録している団体及び個人
- ・調査の方法：令和7年12月にアンケート用紙を登録団体及び個人に郵送し、回答があったアンケートを集計したもの

問1 今年度(令和7年度)の活動頻度について伺います。令和8年1月～3月までは、活動予定を記入してください。

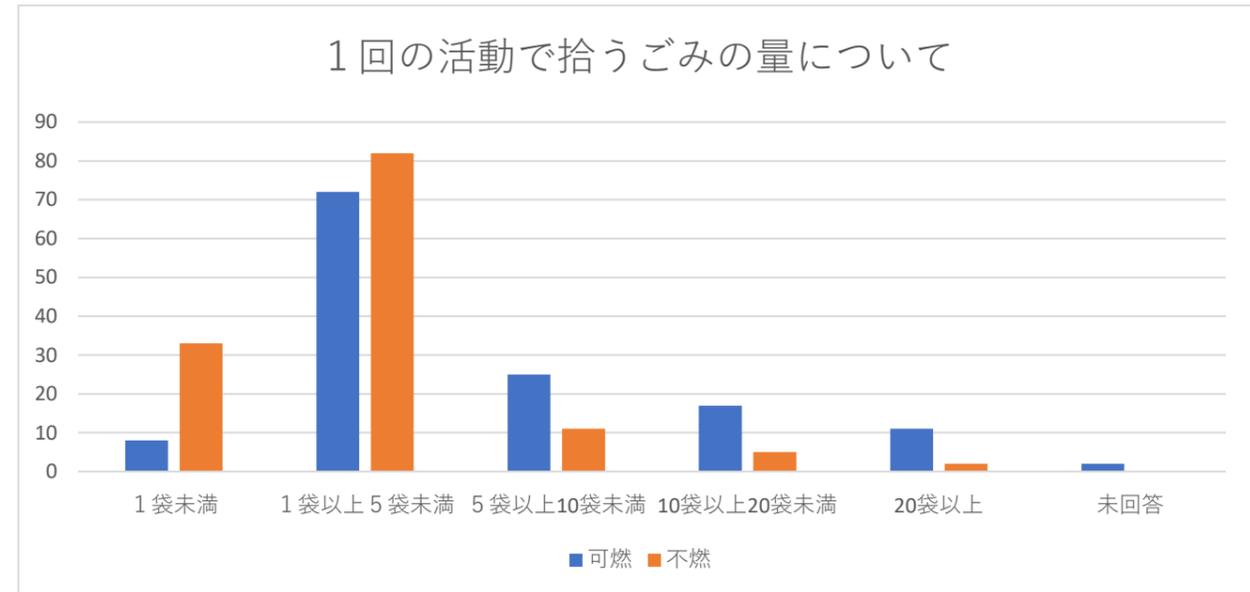
回答数	135	配布数	283	回収率	47.7%
-----	-----	-----	-----	-----	-------

	合計回数(回)	平均(回)
令和7年4月	428	3.17
5月	467	3.46
6月	465	3.44
7月	471	3.49
8月	455	3.37
9月	427	3.16
10月	440	3.26
11月	457	3.39
12月	429	3.18
令和8年1月(予定)	412	3.05
2月(予定)	359	2.66
3月(予定)	388	2.87



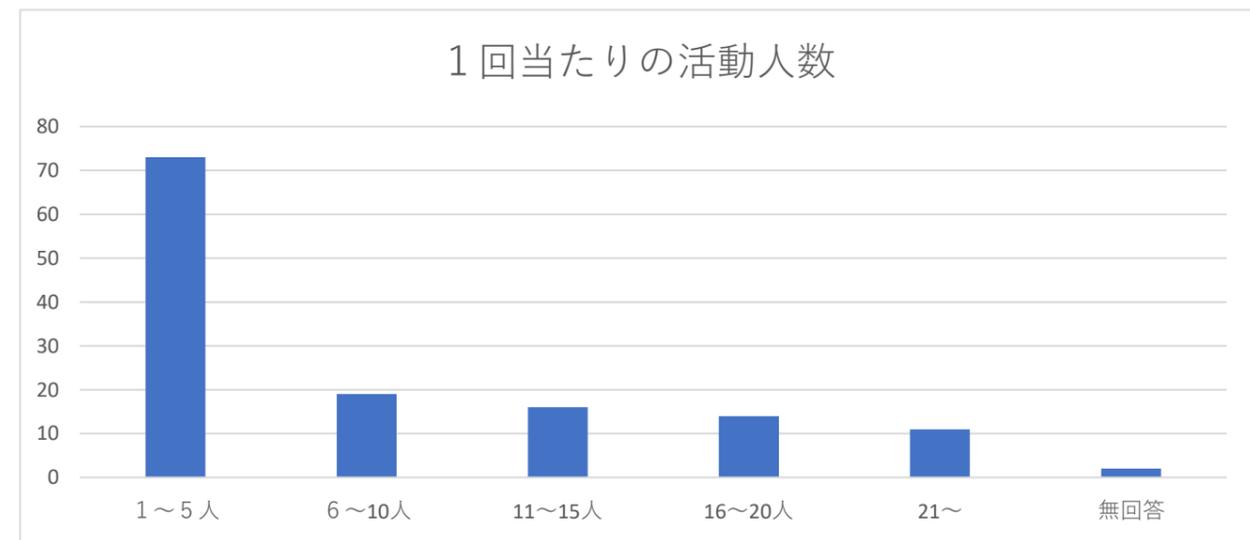
問2 1回の活動でどれくらいごみを拾うか伺います。
活動1回あたり〇袋くらい(内訳:可燃〇袋、不燃〇袋)

	可燃	不燃
1袋未満	8	33
1袋以上5袋未満	72	82
5袋以上10袋未満	25	11
10袋以上20袋未満	17	5
20袋以上	11	2
未回答	2	2
合計	135	135



問3 1回の活動に参加する人数は何人程度か伺います(団体)。
活動1回あたり〇人程度

	回答数	割合
1~5人	73	54%
6~10人	19	14%
11~15人	16	12%
16~20人	14	10%
21~	11	8%
無回答	2	1%
合計	135	100%



【3 活動の課題について】

問4 活動を続けていくにあたってどのような問題を感じていますか。また、その他ご意見・ご要望がありましたら、ご記入をお願いします。

- ・夏場は雑草が伸び放題でゴミも見えづらいためゴミ捨て行為を助長させてしまう。定期的に除草をしてもらいたい。
- ・タバコの吸い殻や箱のゴミが多く排水溝等に隠すように捨てられている。
- ・「ワンハンドビーチクリーン」と呼び名の海あがり片手でひとつゴミを拾って帰る活動をしている。1年通すとかなりの量のゴミを各個人が持ち帰り廃棄している。サーフィンビーチエリアにゴミ箱などもし設置出来ればさらに環境が良くなると思う。
- ・一般家庭から出るような大型ごみが捨ててあった。自販機の横に多くのポイ捨てごみがあった。
- ・隊員の高齢化が進んでおり、活動に参加できる人が少なくなっている。
- ・高齢化に伴い、長時間活動をするのができなくなってきた。また、若い世代が集まらない。若い世代との交流をどうすればいいかわからない。
- ・釣りに来る人達がコンビニで買ったペットボトルをポイ捨てしている。
- ・活動の伝達が難しく、個別の活動になりがち。
- ・ごみの回収について、近隣の方から苦情が来ることがある。なるべく早めの回収をお願いしたい。
- ・ごみがなかなか減らない。ゴミを拾って回収置き場においても、収集する前にカラスに荒らされてしまう。
- ・一人一人のモラルが低下している。特に冬は寒いので、カイロ等の予備が必要であると思う。
- ・活動を始める前に比べて全体のごみの量が減っている。一方、ペットボトルやカン、マスクの廃棄量は減らない。
- ・以前と比べてごみの量が減った。
- ・主に海岸清掃をしているが、駐車場が十分に確保できず、活動を見送ることがある。
- ・適当な駐車場がなく、路上駐車をする場合がある。「路上駐車可」の表示板があると助かる応援隊の方もいると思う。
- ・今年度は仕事の都合で活動ができなかった。車が通る道はたくさんゴミが落ちておりゴミを拾いたいと思うが、交通量が多く、スピードを出している車が多いので、なかなか拾えない。
- ・参加するメンバーが固定されている。更にメンバーを増やすためのアクションを考えているのだが、地域や現場の方との接点を持つ機会が少ないのを感じる。活動をアピールできる方法やアイデアを学ぶ機会があれば、市から提案していただけたらありがたい。
- ・年々、ポイ捨てごみの量は減少している。活動の成果や継続したうえで課題などの事例を紹介していただけると活動の励みになると思う。また、ゴミ袋の厚みは破れないように厚みを確保してほしい。
- ・クリンピー応援隊としての活動が学校のクリーン活動の時だけになっている。継続した活動が実施できていない。